

2025 (令和 7) 年度 (速報版) ヒグマの出没状況および特記事項について

1. ヒグマ目撃・対応件数等

令和 7 年 4 月 1 日～6 月 30 日分

	斜里町	羅臼町	標津町	合計
目撃件数	294 (443) 件	32 (67) 件	32 (21) 件	358 (531) 件
対応件数	190 (226) 件	37 (79) 件	32 (24) 件	259 (337) 件
有害捕獲頭数	2 (6) 頭	0 (2) 頭	3 (3) 頭	5 (11) 頭

※ () 内は前年度同期 (令和 6 年 4 月 1 日～6 月 30 日) の数値
対応件数は電気柵の維持管理作業等を除く

【町別のヒグマ目撃・対応件数の推移】

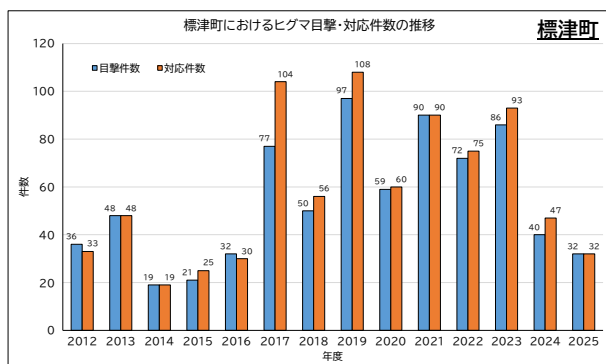
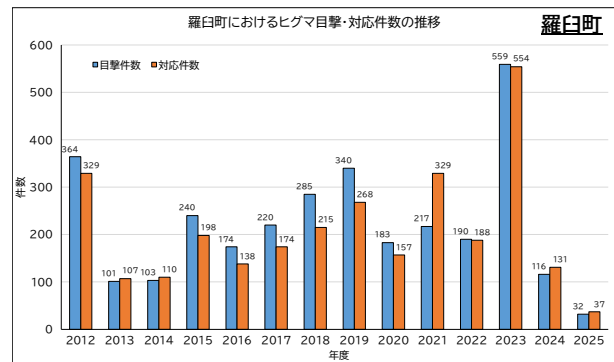
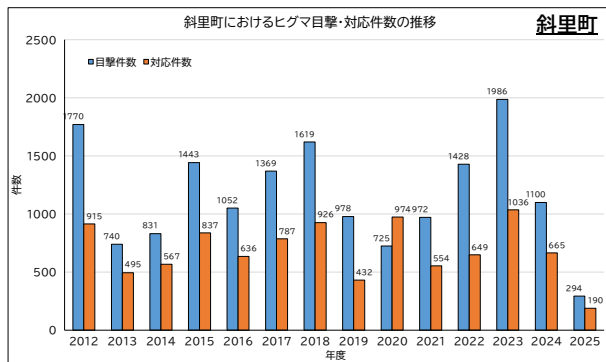


図 1. 町別のヒグマ目撃・対応件数の推移 (2012-2025 年度)

※ 2025 年度は 6 月末時点の数値

【市街地（ゾーン 4）ヒグマ出没件数の推移】

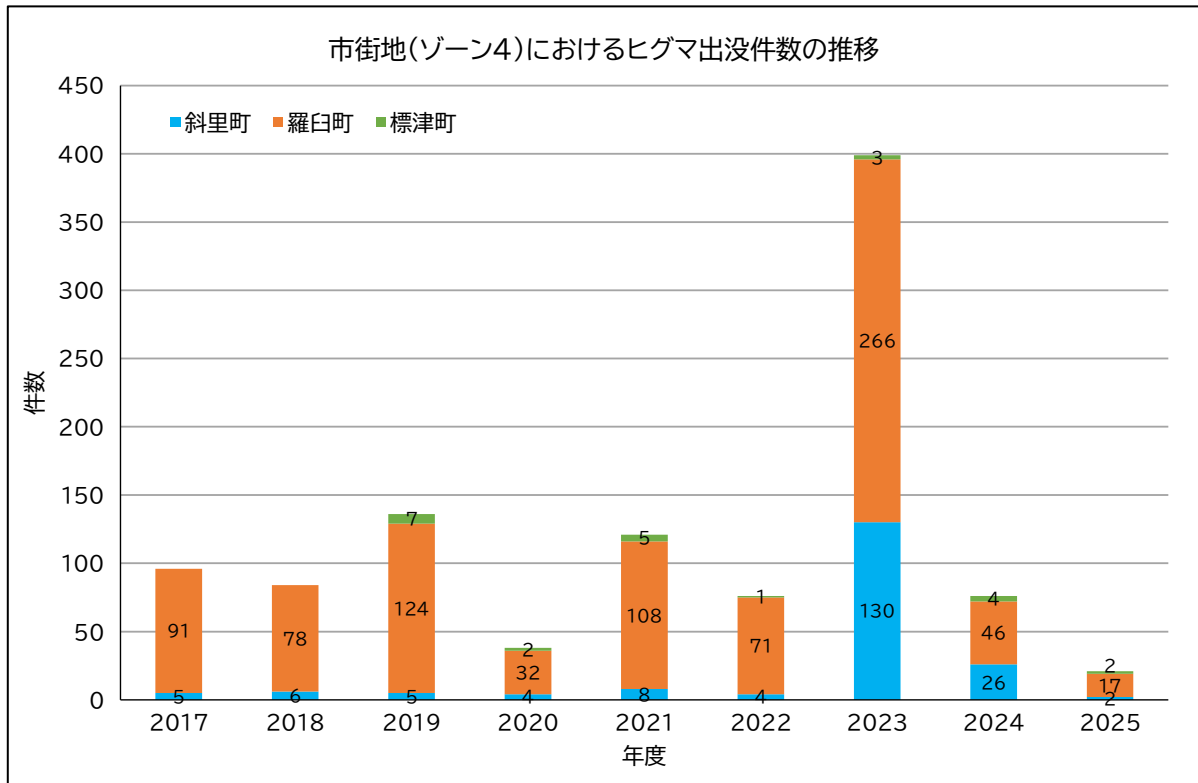


図 2. 市街地（ゾーン 4）ヒグマ出没件数の推移（2012-2025 年度）※ 2025 年度は 6 月末時点の数値

【ヒグマ有害捕獲数の推移】

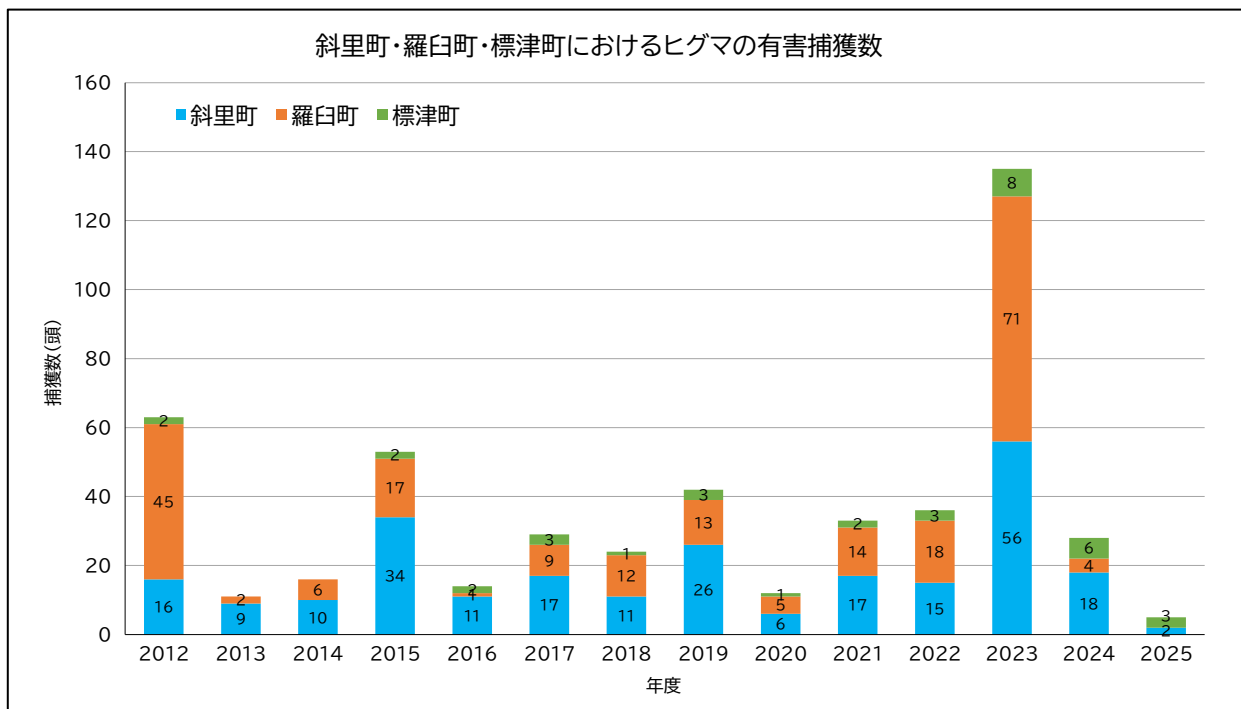


図 3. ヒグマ有害捕獲数の推移（2012-2025 年度）

※ 2025 年度は 6 月末時点の数値

2. 主なトピック

- ・ 冬眠明けのヒグマ出没状況については、3 町とも例年に比べ同水準または少ない傾向にあり、市街地周辺での出没も昨年に比べ少ない状況。
- ・ 羅臼岳をスキーで登山していた利用者に向かって、成獣サイズのクマが走って急接近してきたため、利用者は急いで滑走して逃走した。その後別の利用者と合流してクマを威嚇しながら下山した（5 月 5 日）。5 月 13 日にも概ね同様の地点において亜成獣 2 頭の見撃情報が寄せられたが、当該個体においては人に興味を持つ行動等は確認されず、その後新たな情報は寄せられていない。

3. 各町のヒグマ出没・対応状況

【斜里町】

- ① 斜里町におけるヒグマ目撃件数は 6 月末時点で計 294 件、対応件数は 190 件であり、いずれも昨年度の同時期に比べ少ない状況。例年より積雪量が多く市街地電気柵の立ち上がりが遅れた影響もあり、市街地（ゾーン 4）でのヒグマ出没が 4 月に 2 件（いずれもウトロ市街地）発生した。
- ② 5 月以降、国立公園内の各所で 0 歳連れ親子のヒグマが確認されており、道路沿線を中心に公園利用者と軋轢が生じている状況。
- ③ 6 月中旬以降、半島基部の農地におけるヒグマ出没（オス成獣が多い）・被害が増加の傾向にあり、有害捕獲も増加している。
- ④ 5 月から 6 月にかけて、地域関係者等との協働でウトロ市街地周辺の草刈りを実施した（6 年目）。地元企業の支援を受け、年内にヒグマ対策ゴミステーションを 1 基増設する予定。

【羅臼町】

- ① 羅臼町におけるヒグマの目撃件数は、6 月末時点で 32 件、対応件数は 37 件となった。いずれも昨年度の目撃・対応件数と比較し少ない状況であるが、5 月中旬からは知床横断道の他、市街地（ゾーン 4）での目撃、痕跡の確認が増加。
- ② 熊越の滝遊歩道入口付近にてエゾシカを追いかける亜成獣サイズ 1 頭の通報が複数回寄せられ、付近では同様の個体と疑われるヒグマに関わる出動対応が計 4 度発生している。また知床横断道路沿いで 0 歳 2 頭連れ親子のヒグマが道路上にて連日滞留、1 日に複数回通報を受領する日もあり。当該親子にあつては車両を忌避する様子は一切見せず、今後行動がエスカレートする可能性あり。
- ③ 5 月 20 日に湯ノ沢町の知床羅臼ビジターセンター裏で木に登っていた亜成獣サイズ 1 頭が目撃された。このヒグマはドローンを使用した犬の吠え声の拡声と花火弾による追い払いを行い、安全かつ効率的に追い払いを実施した。
- ④ 町内会主催（協力：羅臼町役場、知床財団）でヒグマ対策町内会草刈りを実施。6 月末時点で 7 町内会（その他、3 町内会の実施を予定していたが雨天中止）において、計 78 名の参加者と共に過去にヒグマが出没した地点やフキが繁茂している箇所を中心に草刈りを実施。

【標津町】

- ① 市街地（ゾーン 4）におけるヒグマの出没（痕跡情報を含む）は、6 月末時点で累計 2 件（前年同期は累計 2 件）となっており、市街地（ゾーン 4）へのヒグマの侵入は昨年と同じ結果となっている。
- ② 農村地区（ゾーン 3）でのヒグマの出没があり、親離れしたばかりと思われる若い個体がたびたび目撃され、有害駆除を実施した。
- ③ 海岸漂着したトド死骸が起因となり、付近の番屋や住宅近くでたびたび目撃され、有害駆除を実施した。
- ④ 5 月 15 日に、標津中学 2 年生と川北中学 1 年生に対してヒグマ学習を実施した。
- ⑤ 7 月 15 日現在、標津町内では最大値を記録した 2023 年以上の出没件数及び駆除頭数になっている。
- ⑥ 町内全域で、親子連れ個体、亜成獣と思われる個体や兄弟クマなど、比較的若い個体が多数繰り返し出没しており、特に川北市街地周辺では次から次へと個体が流入している状態が続いている。要因として推測されることとしては、中標津武佐地区から標津川北地区に続くデントコーンに誘引された個体が流入してきているものと考ええる。5 月に駆除した個体は、昨年の刈残したデントコーンを捕食していた。
- ⑦ 相変わらず町内の標津町以北の海岸にトドの死骸が多く漂着し、それに誘引されたと思われる個体が出没している。これからの時期にさらに増える傾向にある。6 月に駆除した個体は、薫別市街地に出没し、その後崎無異で駆除した。周辺では、トドの死骸が確認され、駆除後に処理した。